

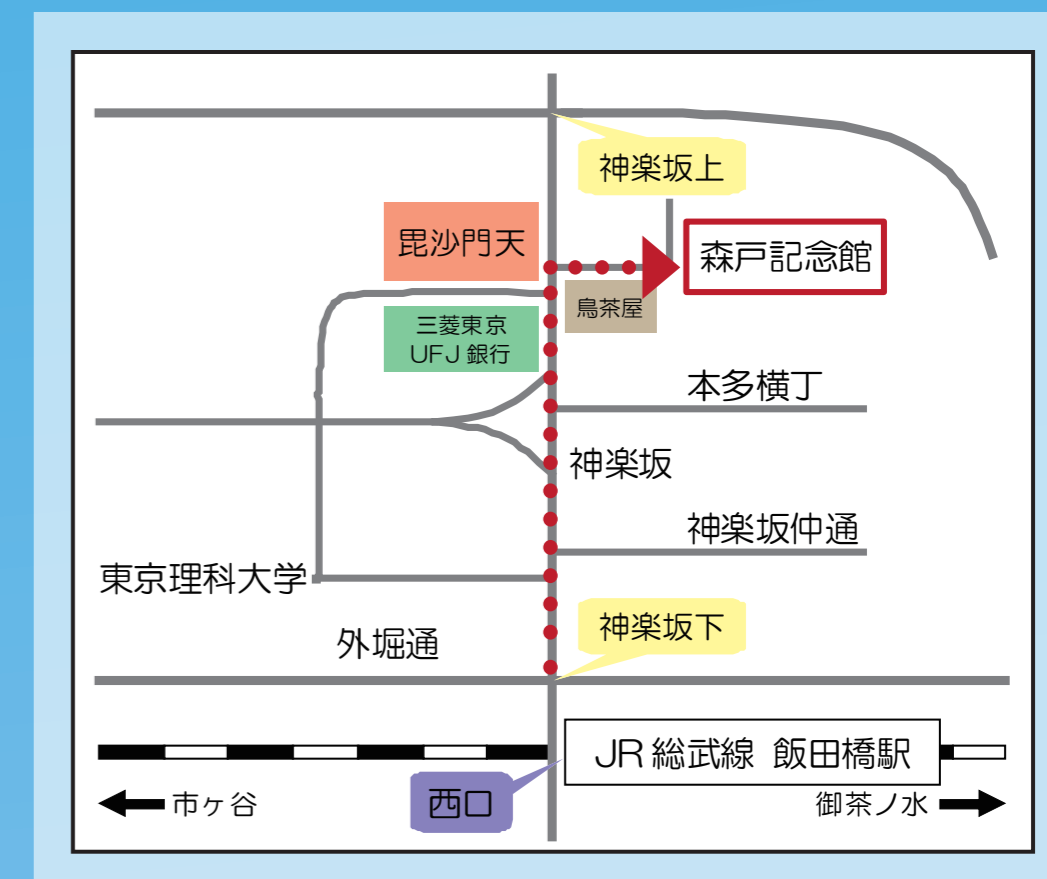
主催：東京理科大学 総合研究機構 火災科学研究センター
東京理科大学大学院 国際火災科学研究科

第2回 住宅火災安全シンポジウム

開催日時：平成25年2月26日(火) 14:00~17:00

開催場所：東京理科大学 森戸記念館 第1フォーラム (地下1階)

住所：東京都新宿区神楽坂 4-2-2 TEL: 03-5225-1033



東京理科大学グローバルCOEプログラム「火災安全工学の東アジア先導的教育研究拠点」では、日本における住宅での火災による死者数が他の火災と比較して圧倒的に多い実状を考慮して、先導的住宅防火研究会を立ち上げました。

そして、平成22年11月に第1回住宅火災安全シンポジウムを開催し、死者を出した住宅火災の分析結果や住宅用火災警報器による奏功事例の紹介等を通じて、住宅火災による死者数低減に向けた

議論を展開し、改めて火災による死者を減らすためには住宅火災による死者数低減の必要性を認識しました。

この度、その後の約2年間の活動を通じて実施してきた作業について報告させて頂くと共に、関係者の皆様と再度、住宅火災による死者発生防止の対策等について議論を深めたいと思います。

関係者の皆様のご参加をお願い申し上げます。

★ プログラム(予定)

- | | | |
|----------------------|------------------------|--|
| 14:00~14:10
(10分) | ■ 講演1 | 住宅火災の今・GCOE 住宅防火研究会における活動概要
菅原進一 (東京理科大学・教授) |
| 14:10~14:25
(15分) | ■ 講演2 | 人口高齢化と高齢者の居住形態の動向からみた火災による死者発生のリスクについて
関澤愛 (東京理科大学・教授) |
| 14:25~14:45
(20分) | ■ 講演3 | 東京都における住宅用火災警報器の奏功事例と住宅火災の死者発生事例の紹介
田中富也 (東京消防庁防災部防災安全課・生活安全担当係長) |
| 14:45~15:05
(20分) | ■ 講演4 | 統計データの分析から見た住宅火災の実情
山内幸雄 (東京理科大学・准教授) |
| 15:10~15:25
(15分) | ■ 講演5 | 住宅火災シナリオと安全性評価のポイント
水野雅之 (東京理科大学・講師) |
| 15:25~15:40
(15分) | ■ 講演6 | 住宅火災における煙流動予測と安全性評価
中濱慎司 (大成建設株式会社・主任研究員) |
| 15:40~15:55
(15分) | ■ 講演7 | 住宅火災における避難シミュレーション
佐野友紀 (早稲田大学・准教授) |
| 15:55~16:10
(15分) | ■ 講演8 | CFDによる煙流動解析(FDS)
原哲夫 (日本ERI株式会社、東京理科大学・客員教授) |
| 16:10~16:20 | ————— 10分休憩 ————— | |
| 16:20~17:00
(40分) | ■ パネルディスカッション(質疑応答を含む) | 司会：関澤愛、水野雅之(前掲) パネラー：講演者全員
まとめ：小林恭一(東京理科大学・教授) |

★ 懇親会 シンポジウム終了後に、2階第3会議室において懇親会を予定しています。

■ 参加申込み

参加人数の把握や受付を簡単にするために事前のお申し込みにご協力下さい。
件名を「第2回住宅火災安全シンポジウム参加申込み」として、①ご氏名 ②ご所属 ③ご連絡先
(Eメール又は電話等)をご記入の上、水野宛 m.mizuno@rs.noda.tus.ac.jp
又はFAX **04-7123-9873** までご連絡下さい。宜しくお願い致します。